

平成 27 年度飯山市美術館運営協議会（第 2 回）次第

日時：H28. 2. 19（金）15:30～

場所：飯山市公民館 101 会議室

1 開 会

2 あいさつ

・教育長

3 自己紹介

4 会長選出

会長_____

会長職務代理_____

5 協議事項

（1）平成 27 年度事業報告について

（2）平成 28 年度事業計画（案）について

（3）平成 29 年度以降の計画（案）について

（4）その他

5 そ の 他

6 閉 会

平成 27 年度飯山市美術館運営協議会委員名簿

美術館運営協議会委員（敬称略）

	氏 名	備 考
1	森崎 鉄兵	社会教育委員
2	油科 淳太郎	有識者
3	上海 一徳	飯山仏壇事業協同組合
4	阿部 一義	内山紙協同組合
5	千坂 経悦	飯山市高校美術科担当者会
6	吉越 鎧師	飯山市芸術文化協会会长
7	小林 芳裕	校長会
8	高杉 令子	飯山市芸術文化協会

教育委員会関係者

1	教 育 長	長瀬 哲
2	文化振興部長（兼）文化交流課 長（兼）美術館長	石田 一彦
3	施設係長	井端 伸介
4	臨時職員（学芸員）	宇敷 恵子
5	臨時職員	木村 友子
6	臨時職員	西川 邦子

(1) 平成27年度事業報告

事業名		内容・効果等	期間等	入館者数等
管理運営関係	運営協議会開催(第1回)	H27年度計画等について協議・了承	6/18(水)開催	△
	運営協議会開催(第2回)	H27年度事業報告・H28年度事業計画について	2/19(金)開催	
	警備委託	夜間の機械警備を委託	H27.4.1～H28.3.31	
	清掃用品借り上げ	日常清掃のための用具借り上げ	H27.4.1～H28.3.31	
受付業務委託		受付カウンター業務を月7日委託	H27.4.1～H28.3.31	
常設展示		【内容】飯山市出身あるいはゆかりの芸術家で、これまで企画展を開催した画家の作品を中心に展示。美術館収蔵品及び60～70点を展示。秋の企画展終了後からは新幹線飯山駅開業に先立ち、「ありふれた風景が宝モノ」をテーマに、当地ゆかりの美術家たちの眼を通して映し出された飯山の風景画を中心に紹介している。	H27.4.1～H27.4.9 H27.7.3～H28.3.31	
企画展	北陸新幹線開業記念企画展 『beyond the paper 和紙/やまふところ 斎藤一郎展』	【内容】飯山市下境出身の和紙作家・斎藤一郎氏(1938～)の集大成ともいえる作品展を開催した。斎藤氏が平成11年から現在までに制作した作品の中から、特に優れた現代的な和紙作品84点を紹介した。 【効果】当市は和紙産地であることから、飯山を特徴づける内容で、郷土出身作家を内外に広くアピールできた。和紙に対する興味・関心を高めるきっかけになったと思われる。 市出身で千葉県在住の作家であったことから、市内だけでなく関東圏からの来場者も多かった。	会期:4/18～6/28 開館日数:61日 会場:展示室・ロビー 2階ギャラリー	会期中入館者数 1,846名
	ギャラリー企画展 『栗田貞多男写真展 北陸新幹線沿線百名山』	【内容】今年3月に開業した北陸新幹線の美しい山々の写真を紹介した。特に、北信地域を中心に、上越・黒部・金沢の四季折々の自然の魅力にあふれた幅1.8メートルの大作など41点を紹介した。 【効果】行楽シーズンや、5館合同の「秋まつり」の開催が重なったことから、ギャラリー企画展としては比較的入館者数が多くなった。郷土の自然の美しさを再認識・再発見する機会になったと思われる。	会期:9/19～10/16 開館日数:24日 会場:ロビー・2階 ギャラリー	会期中入館者数 1,381名
		会期中、総合学習センターフェスティバルの催しとして、「クイズ 答えは作品の中」を実施。	10/3・4 開催 ※この2日間は入館無料	入館者数 426名 ※1,381名の内数
ギャラリー企画展 『城南・城北中学校美術部展(第6回)』		城南・城北中学校美術部の日頃の活動の成果を発表するための作品展。両校の美術部員合わせて48名の静物画や風景画・イラスト・名画の樟写・切り絵な	会期:10/18～11/8 開館日数:19日	会期中入館者数 585名

(1) 平成27年度事業報告

事業名	内容・効果等	期間等	入館者数等
	ど、48作品を展示した。		
(予定) ギャラリー企画展 『ぐい呑み展～高橋正義コレクションから～』	飯山市出身愛知県在住の高橋正義氏が収集したぐい呑み1,458点の寄贈を受けたことに伴い、今回、そのお披露目として、美術館ロビーに約200点を展示する。	会期:3/12～3/20 開館日数:9日	△
美術教室1	夏休み体験教室	飯山市内の土から作った絵具で和紙に模様を描き、オリジナルのランプシェードをつくった。。	会期:7/31 会場:公民館団体室 参加者:15名
美術教室2	斎藤一郎展ワークショップ 『紙漉き体験』及び『泥ing』	【内容】大人から子どもまでを対象とし、飯山産のコウゾを原料とした紙漉き体験、また、その和紙に飯山の土から作った絵具で絵を描くイベントを実施した。 【効果】大人も子どもも和紙や土から作られた絵具の独特の感触を楽しみながらドローイングを行うことができた。郷土の伝統工芸である和紙や市内で採取した土を組み合わせることで、“飯山らしい”活動が可能になるとの認識が得られた。	『紙漉き体験』 会期:4/25 会場:飯山和紙研究会工房 『泥ing』 会期:4/26 会場:美術館ロビー 参加者:6名
	斎藤一郎展ギャラリートーク	作家本人による作品解説や創作活動にまつわるエピソードなどを作品の前で語っていただいた。	会期:6/6 会場:展示室・美術館ロビー・2階ギャラリー 参加者:21名
作品受入関係	高橋正義氏ぐい呑み1,458点	飯山市出身愛知県在住の高橋正義氏が収集したぐい呑み1,458点の寄贈を受け、写真撮影等を行い、リストを作成。	平成27年3月30日付 で受入決定 平成27年5～11月 △
	岩上隆静水彩画1点	岩上敦子様から岩上隆静作『山里の春』(水彩、35.0×49.5cm)の寄贈を受けた。本作は、岩上先生が平成12年に発行した『画文集・千曲川』に掲載されており、画家の代表作の1点と言える作品。	平成27年6月30日付 で受入決定 △
	安原半田掛け軸17点	飯山市出身埼玉県在住の安原眞成様から安原半田(佐太郎)(1875～1939)の水墨画等の掛け軸17点の寄贈を受けた。	平成27年10月20日付 で受入決定 △
	宮澤鉄夫掛け軸1点	東京都在住の南久保よき様から宮澤鉄夫(1898～1966)の掛け軸『上高地ノ図』1点の寄贈を受けた。	平成27年12月18日付 で受入決定 △

平成27年度 月別利用状況

上段=入館者数・下段=入館料
飯山市美術館・伝統産業会館

月	個人		団体		共通個人		共通団体		4館共通						有料入館合計	無料入館		総入館合計	累計
	大人	小中	大人	小中	大人	小中	大人	小中	大人	小中	団体大人	団体小中	大人	小中	大人	小中	大人	小中	
4月	64	5	0	0	21	0	0	0	102	1	0	0	193	754	28	975	975		
	19,200	1,000	0	0	5,040	0	0	0	24,480	160	0	0	49,880						
5月	151	8	0	0	66	5	1	0	227	7	0	0	465	257	0	722	1,697		
	45,300	1,600	0	0	15,840	800	170	0	54,480	1,120	0	0	119,310						
6月	191	2	35	0	30	0	59	89	124	0	0	0	530	246	1	777	2,474		
	57,300	400	7,000	0	7,200	0	10,030	7,120	29,760	0	0	0	118,810						
7月	56	1	20	0	15	0	23	0	75	0	0	0	190	248	21	459	2,933		
	16,800	200	4,000	0	3,600	0	3,910	0	18,000	0	0	0	46,510						
8月	67	6	37	0	68	8	2	1	145	3	0	0	337	136	21	494	3,427		
	20,100	1,200	7,400	0	16,320	1,280	340	80	34,800	480	0	0	82,000						
9月	132	0	52	102	22	3	22	190	160	6	0	0	689	209	19	917	4,344		
	39,600	0	10,400	10,200	5,280	480	3,740	15,200	38,400	960	0	0	124,260						
10月	139	1	0	0	79	0	23	0	132	1	11	0	386	541	502	1,429	5,773		
	41,700	200	0	0	18,960	0	3,910	0	31,680	160	1,870	0	98,480						
11月	49	1	0	0	25	0	89	69	129	5			367	82	65	514	6,287		
	14,700	200	0	0	6,000	0	15,130	5,520	30,960	800	0	0	73,310						
12月	13	4	29	0	4	2	0	0	20	0	0	0	72	64	1	137	6,424		
	3,900	800	5,800	0	960	320	0	0	4,800	0	0	0	16,580						
1月	43	2	0	0	11	0	0	0	32	2	0	0	90	95	5	190	6,614		
	12,900	0	0	0	2,640	0	0	0	7,680	320	0	0	23,540						
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
合計	905	30	173	102	341	18	219	349	1,146	25	11	0	3,319	2,632	663	6,614	H9~人		
	271,500	6,000	34,600	10,200	81,840	2,880	37,230	27,920	275,040	4,000	1,870	0	753,080						

過去9年間における入館者数の推移

入館者内訳(人)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
4月	664	885	827	933	633	630	970	780	975
5月	566	515	505	425	821	341	504	620	722
6月	226	349	215	256	454	432	455	269	777
7月	505	1,033	464	655	753	579	510	903	459
8月	847	521	152	849	731	844	716	834	494
9月	725	595	617	978	961	787	513	822	917
10月	1,870	2,735	2,372	2,950	2,053	1,608	1,600	1,189	1,429
11月	659	1,070	506	723	393	483	563	486	514
12月	176	80	196	176	39	139	238	171	137
1月	128	61	57	60	178	63	63	118	190
2月	112	114	65	70	138	179	151	120	
3月	295	77	112	53	146	269	215	452	
合計	6,773	8,035	6,088	8,128	7,300	6,354	6,498	6,764	6,614
					H9～累計	145,021	151,519	158,283	164,897

大人	935	1,024	684	1,142	1,127	1,282	1,104	1,199	
小中	14	32	16	32	22	22	23	51	
大人団体	449	716	699	975	592	337	276	179	
小中団体	407	210	251	299	231	278	114	112	
無料	3,231	3,866	2,739	3,789	3,532	3,156	3,235	3,006	
大人共通	576	856	561	640	557	556	337	258	
小中共通	19	22	45	14	24	23	7	11	
大人団体共通	359	271	361	343	398	247	96	131	
小中団体共通	783	1,038	732	894	817	453	170	460	
4館共通大人							1,030	993	
4館共通小中							24	41	
4館共通団体大人							82	113	
4館共通団体小中							0	210	

入館料合計	678,750	815,870	635,070	859,570	754,540	699,550	779,300	820,540	
-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--

開館日数	299	299	300	299	273	300	299	305	299
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※27年度団体入館数内訳 小学校 8校(市内はなし)
 一般 18団体 (県内公民館、老人クラブ等)

(2) 平成 28 年度事業計画（案）について

1 常設展示

内容： 飯山市出身あるいはゆかりの美術家及び企画展を開催した美術家の作品を中心に常設展示を行う。美術館収蔵品及び借用作品を合わせて 60～70 点を常設展示する。

期間： 企画展の開催期間を除いた期間

備考： 収蔵作品以外で展示可能な作品があれば展示を検討したい。

2 企画展

現在、多方面で活躍する郷土ゆかりの美術家等の作品を紹介する企画展を検討中。

期間： ※ 9～10 月の 2 か月間中を候補としたい。

3 ギャラリー企画展等

方針： 市出身やゆかりの有無にこだわらず、市外の作家も積極的に紹介し、施設の有効活用・活性化を図る。

①「第 36 回飯山市民芸術祭」

期間： 4 月 23 日（土）・24 日（日）

内容： 市民芸術祭の会場の一部として、展示室・ロビー・ギャラリーに絵画（水彩・油彩・水墨・日本画）・書道・華道・その他の作品を展示する。

備考： 4 月 22 日（金）常設展示作品撤収及び市民芸術祭展示作業

4 月 24 日（日）午後 5 時から出品者による展示作品撤収

4 月 25 日（月）常設展示復帰作業

②登録社会教育団体ギャラリー展

内容： 美術館ギャラリー及びロビーを身近な作品発表の場として広く活用を図ると共に、地域に根ざした芸術活動を行う団体の制作意欲の励みの場、あるいは活性化に寄与するため、登録社会教育団体と飯山市美術館共催による作品展を行う。

※該当する団体へ呼びかけを続け、希望があった場合は日程調整をしながら開催に向け話を進めたい。

（その他 1）

・「城南城北中学校美術部展」については、平成 22 年から 27 年までの 6 年間に亘って美術館の 2 階ギャラリー等で開催してきたが、28 年度以降も継続するか否か、また、継続するのであれば、公民館ギャラリー（公民館から図書館への連絡通路ガラスケース含む）やその他の施設で開催する方向で調整中。

(その他 2)

・27年度中に寄贈を受けた安原半田の展示を検討中。

「広報いいやま」の紙面において、同画家の情報提供を求めたところ、3件ほどの連絡があり、今後、半田の画業や借用可能な作品の有無などについて調査する予定。

・安原半田と同様、岡登貞治（1898～1966）についても1月の広報いいやまで情報提供を求めているが、今のところ連絡等はない。岡登は文様の研究や教育者として活躍した人物で画家として評価された情報はないが、『苔むす佛』『思惟佛』（2点とも市美術館所蔵）など優れた作品を残していることから、展示するにふさわしい作品が残されていないか今後も情報提供を呼び掛けたい。

4 ワークショップ・美術教室等

①『和紙や地元の土』にこだわった取り組み

H27企画展『齋藤一郎展』にあわせて開催したワークショップでは、内山紙の手漉きを体験したほか、地元で採取した土から絵の具を作り、和紙やケント紙、新聞紙にドローイングを行った。

“飯山と言えば○○”と対外的に認知されるような特徴のある活動を目指すうえで、例えば、郷土の和紙や土をテーマとすることは大変有効であると考えており、それらに関連付けた美術教室等を行いたい。

当面は、齋藤一郎展のワークショップで実施した『紙漉き』『地元の土から作った絵の具によるドローイング』などの実践を継続的に行えるような内容を検討したい。

②夏休み・春休み体験教室の企画運営

市公民館主催により小中学生の夏休みと春休み期間中に計画される体験教室で、美術・図工関連企画立案と運営に関わる。

5 五郷研修館の活用・連携

方針： 県外在住の芸術家を支援し、美術館活動の活性化に繋げる。

内容： 平成14年度から継続。不定期に飯山を訪れ、絵画作品などを制作（制作場所：五郷研修館）。

研修館を使用している美術家

○原田卓三（大阪府在住、東京芸術大学大学院修了、独立行政法人造幣局）

○瀬島 匠（東京都在住、武蔵野美術大学卒、武蔵野美術大学非常勤講師）

○内田 寛（絵画、愛知県在住、名古屋芸術大学卒）

○星 晃（日本画 埼玉県生まれ 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒）

(3) 平成 29 年度以降の計画（案）について

① 平成 29 年度

（仮称）中川岳二展（案）※作家と打ち合わせ済み

◇会期：平成 29 年 9 月上旬～11 月上旬 *会館日数 50～60 日程度

◇内容：

中野市在住の木工作家を紹介。樹木の色や木目を活かし、その組み合わせにより文様などを描く寄木・木象嵌という技法で作品を制作し、作品の大きさに関わらず、すべてにおいて精巧で緻密な精度の高い作品の数々を展示する。大学卒業後に祖父母がいた中野市へ移住し工房を開設したが、生活と制作の両立、自身の制作活動の方向性に苦悩していたとき、たまたま飯山市内のギャラリーで作品展を開催し、このときの『出会い』や『経験』が現在の創作活動に影響を与えていたこと。

現在の活動の原点が飯山で開催した作品展であったことから、飯山市美術館で企画展を開催したい。「ずっと大切にしてもらえるもの、子供のためになるものをつくりたい」という思いから生まれた作品の数々は、子供のみならず大人や高齢者まで幅広い評価を得ており、既に国内外で活躍している。今後ますますの活躍が期待され、飯山でもぜひ紹介したい若手作家のひとりである。これまで各地で個展やグループ展を行い紹介してきた作品に加え、飯山ならではの作品を制作するとのことで、この地にちなんだ新作が期待される。また会場内には、実際に手で触れて遊ぶことのできるプレイスペースを設ける予定である。

※中川岳二略歴参照

② 平成 30・31 年度

※ 検討中

（構想として）

現在、企画展のテーマや作家の候補を検討中である。

飯山市の地域性や特色に根差したテーマによる企画展を不定期であっても継続していくことが必要と考えている。例えば、郷土の伝統工芸である和紙は、『斎藤一郎展』の開催経験からもワークショップや企画展のテーマとしていく価値が高いことを実感できたテーマであり、今後も和紙に関連付けた企画を検討していきたい。

また、斎藤一郎展では、和紙とともに地元で採取された「土」もワークショップにおいて大変重要な役割を果たしたが、和紙同様に継続して取り組むべきテーマを感じている。

平成 29 年度飯山市美術館企画展
(仮称) 中川岳二展開催概要

飯山市美術館

1. 企画展名 『(仮称) 中川岳二展』 *副題を含め今後検討

2. 会期 平成 29 年 9 月上旬～11 月上旬 *会館日数 50～60 日程度

3. 内容趣旨

埼玉県出身で中野市在住の木工作家を紹介する。

樹木の色や木目を活かし、その組み合わせにより文様などを表現する寄木・木象嵌よせぎ もくぞうがんという技法で作られる作品は、高度な技術力による精巧な仕上がりと特徴的な形姿が魅力で、国内外の幅広い世代から高い評価を得ている。

中野市への移住直後に飯山市内のギャラリーで作品展を開催しており、このときの『出会い』や『経験』が現在の創作活動に影響を与えていたこと、現在の活動の原点が飯山であったことから、中川氏にとって初の大規模な作品展を当地にて開催する。これまで個々に発表してきた大型作品を一堂に展示するほか、北信地方にちなんだ新作を展示予定。また「ずっと大切にしてもらえるもの、子供のためになるものをつくりたい」という思いで制作を続ける中川氏が影響を受けたという組み木デザイナー・小黒三郎氏の作品を併せて展示し、両者の作品を実際に手で触れて遊ぶことのできるプレイスペースを設ける。

4. 会場 飯山市美術館

1 階展示室：中川岳二氏の作品展示
1 階ロビー：プレイスペース
2 階ギャラリー：組み木デザイナーや小黒三郎氏の作品展示

5. 主催 飯山市、飯山市教育委員会

6. 後援 信濃毎日新聞社、北信ローカル、北信濃新聞社、公益財団法人八十二文化財団、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、テレビ北信、i ネット飯山、飯山商工会議所、飯山市芸術文化協会、信州いいやま観光局

7. 協力 中野市、中野市教育委員会 (予定)

*企画展チラシの全戸配布(中野市)、中野市内公共施設への企画展チラシ・ポスターの掲出について、今後相談する。

8. 開館時間 午前 9 時～午後 5 時 (入館は 4 時 30 分まで)

9. 休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝祭日の場合は翌火曜日が休館)

10. 入館料 一般 300 (200) 円、小中学生 200 (100) 円※ () は 20 名以上の団体料金

11. 連絡先 飯山市美術館 (TEL/FAX : 0269-62-1501)

■作家略歴■

中川 岳二（なかがわ たけじ）

1978年 長野県生まれ埼玉県育ち

2000年 丹波の森ウッドクラフト展 奨励賞

2001年 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科木工専攻卒業

2004年 全国木のクラフト展 特別賞

2005年 6th S. I. C. F. 審査員特別賞

2006年 テイクジー・ブロック、テイクジー・ズー販売開始

2007年 松屋銀座「シーズンスタジオ」にて個展

「スペース アルテマイスター」にて個展

2008年 「ギャラリーミタテ」にて個展

2012年 『NAGANO 新 CONCEPTUS—長野ゆかりの若手アーティスト 10 人展—』出展（志賀高原ロマン美術館にて）

テイクジー・トイズを「中川岳二」と「テイク・ジー」に分けて活動をはじめる。

2013年 『信州の工芸作家展 4人の作家の表情』出展（世界の民俗人形博物館にて）

2014年 自宅ギャラリーにて個展『こてんこてん展』（中野市で2回目の個展）

作品について

中川岳二の作品は寄木・木象嵌という技法によって制作されています。寄木・木象嵌とは、樹木特有の色や木目を活かし、その組み合わせによって文様など描く技法です。ケヤキ・ウォールナット・ホワイトアッシュ・チークの4種の木を、配色に合わせてそれぞれの厚さ、大きさに製材しランプで圧着します。顔などに目や数字の下穴を開け、正確に切り出した材料をはめ込みます。それを顔や体の形に削り出し、オイル塗装で仕上げています。

（<http://nakagawa.take-g.com/profile> 中川岳二 HP より）

制作活動について

- 自身の作家活動は『中川岳二』として作品を発表し、スタッフと共に活動する木製品製造販売会社(おもちゃ／家具)『テイクジー』では、商品としての木製品を制作している。
- もともとは家具職人として生きていこうと考えていた作家の転機は、大学3年のときに授業で出された課題だったとのこと。『機能』から離れ、飾るためだけのものを作るという課題だった。とはいえ、日常の自分からかけ離れたオブジェ等の作品にはしたくないと思い、考案したのが『ロボット』で、教授陣の評価も高く、なにより自分の中でも手ごたえを感じた経験だったとのこと。
この経験が原点となり、現在の制作活動に通じているとのこと。

飯山とのご縁

父親の生家のある長野県に工房を構えたころ、奥さんとの2人展を飯山(@ギャラリー白銀)で開催した。その時に井端さんと出会い、以後お付き合いが続いている。長野での活動のスタートが飯山での作品展であったという位置づけで、当館での企画展を計画したい。

作家一覧【現役】

* 作家名50音順

* 2015/6/19現在 飯山市美術館

No.	作家名	種別	出身地	在住地	展示実績		備考	収蔵有無
					企画展	ギャラリー展		
1	青木勇治	絵画 油彩	飯山市	長野市				—
2	池田春男	写真 人物/風景	飯山市	神奈川県		H23 個展		—
3	いとうまき	絵画 イラスト	飯山市	同		H17 個展		—
4	猪瀬清四朗	彫刻	飯山市静間	東京都	H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
5	内田寛	絵画	名古屋市	同	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ H17 個展	五郷研修館使用	—
6	浦野吉人	絵画 油彩等	飯山市	長野市	H13 浦野吉人展 H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
7	碓井昭男	工芸 陶芸	飯綱町	同		H23 個展		—
8	岡本邦治	絵画	飯山市	東京都				—
9	川口昇	絵画 油彩	飯山市	同	H16 飯山の美術家展			—
10	川口和平	写真	飯山市	長野市		H24 個展		—
11	含翠会	絵画 日本画	—	—	H11 含翠会展		長谷川青澄一門	—
12	北岡康隆	絵画 日本画	中野市	同				—
13	木原正徳	絵画 油彩	飯山市太田	山形県	H16 飯山の美術家展 H20 木原正徳・野口俊文二人展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			—
14	栗田貞多男	写真 自然風景	長野市	同		H27 個展		
15	小林敬一	写真	飯山市常盤	同				—
16	小林野々子	絵画 行介等	長野市	同		H25 個展		—
17	小林宏	絵画 日本画	飯山市木島	山梨県	H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			—
18	駒村久彌	絵画 油彩	飯山市	同	H12 駒村久彌展 H16 飯山の美術家展			有
19	小山才サム	絵画 油彩	飯山市	静岡県	H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち	H14 個展		—
20	斎藤一郎	絵画 和紙絵画	飯山市岡山	千葉県	H11 斎藤一郎展 H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
21	酒井和子	絵画 水墨	飯山市柳原	東京都		H18 個展		—
22	柴田長俊	絵画 日本画	上越市	軽井沢町	H22 北信濃に原風景を見た美術家たち H25 祈りの風景柴田長俊展		飯山北高校卒業	有
23	関修	写真 人物/風景	飯山市	同		H22 個展		—
24	関智生	絵画	奈良県	名古屋市		H17 個展		—
25	瀬島匠	絵画	広島県因島市	東京都	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ		—
26	高橋まゆみ	— 創作人形	長野市	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
27	滝純一	絵画 テンペラ等	木島平村	福岡県	H16 飯山の美術家展		飯山北高校卒業	—

作家一覧【現役】

* 作家名50音順

* 2015/6/19現在 飯山市美術館

2

No	作家名	種別	出身地	在住地	展示実績		備考	収蔵 有無
					企画展	ギャラリー展		
28	田窪恭治	風景美術	愛媛県今治市	習志野市			H26 飯山市内菓子店壁画等	—
29	田中涉	絵画 油彩	飯山市木島	同	H16 飯山の美術家展			—
30	千坂経悦	陶芸	宮城県	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
31	中川岳二	木工	埼玉県	中野市				—
32	野口俊文	絵画 油彩等	木島平村	長野市	H20 木原正徳・野口俊文二人展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち		飯山北高校卒業	—
33	長谷川豊	工芸 陶芸	東京都	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
34	馬場剛史	絵画	中野市	同		H15 個展		—
35	原田卓三	絵画	愛知県	大阪府	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ		—
36	藤岡牧夫	絵画	木曾谷	東京都				—
37	藤巻翔	写真 アウトドア フォトグラファー	飯山市	神奈川県		H26 個展		—
38	松澤芳宏	絵画 油彩等	飯山市 静間	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遙の画家たち展			—
39	丸山高司	絵画 日本画	飯山市	同		H17 個展		—
40	丸山東子	絵画 日本画	サハリン 飯山育ち					—
41	森川賢道	工芸 銘金/茶道具	須坂市	京都府				—
42	森田千晶	工芸		埼玉県			和紙の仕事大賞	有
43	山田真巳	絵画 日本画	東京都	同				—
44	柳沢京子	絵画	北佐久郡 浅科村	長野市				有
45	柳澤秀紀	絵画 リアルイラスト	長野市 (旧豊野町)	長野市		H15 個展 H20 個展		—
46	吉越蘆師	絵画 日本画 水墨画	飯山市常盤	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遙の画家たち展			—
47	鶴森秀樹	絵画 油彩	飯山市	フランス				有

作家一覧【物故】

* 作家名50音順

* 2015/6/19現在 飯山市美術館

No.	作家名	種別	出身地	活動拠点	展示実績		備考	収蔵有無
					企画展	ギャラリー展		
1	相原求一朗	絵画 油彩	川越市	同	H10 相原求一朗展 H18 相原求一朗展		遺族川越市在住	有
2	岩上隆静	絵画 水彩	飯山市	同	H14 岩上隆静展 H16 飯山の美術家展 H24 北信濃道遙の画家たち展	H26 追悼展		有
3	岡田千春	絵画 油彩	飯山市	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃道遙の画家たち展		遺族飯山市在住	有
4	岡登 貞治	絵画 油彩	飯山市 東京都				常設展示	有
5	小野沢健一	彫刻 木造	飯山市 神奈川県		H16 飯山の美術家展		H26.5.31逝去	有
6	大塚可南	書道 一	飯山市木島	同	H16 飯山の美術家展			一
7	金木寿遷	書道 一	飯山市	同	H16 飯山の美術家展	H23 個展 H23 新収蔵品展	遺族飯山市在住	有
8	河野文夫	絵画 油彩	佐賀県 野沢温泉村		H15 河野文夫展			一
9	岸田陸象	彫刻 仏像	飯山市				遺族埼玉県在住	一
10	児玉果亭	絵画 日本画	山ノ内町					一
11	小林起一	コンセプチュアル	飯山市	同	H16 飯山の美術家展	H22 追悼展 H23 新収蔵品展		有
12	佐久間雲窓	絵画 日本画		飯山市			飯山藩士の子息	一
13	佐藤武造	絵画 水彩/漆画	飯山市 バリハ東京都		H12 佐藤武造展	H20	遺族東京都在住	有
14	武田雲室	絵画 日本画					市内光蓮寺出身	一
15	武村次郎	絵画 油彩	横須賀市				飯山の風景画多数制作	有
16	寺瀬默山	彫刻 木造/乾漆	飯山市 中野市				遺族中野市在住	有
17	白隱	絵画 禅画	駿河国 同		H12 特別企画展白隱禅師		正受庵で修業	一
18	長谷川青澄	絵画 日本画	飯山市 東大阪市		H9 長谷川青澄展 H10 長谷川青澄展 H16 飯山の美術家展 H17 画人長谷川青澄追悼展 H19 長谷川青澄挿絵原画展 H23 画人長谷川青澄の世界 H26 没後10年記念展	H16 個展 H20 個展 H23 新収蔵品展	遺族東京都在住	有
19	本多焦風	絵画 日本画					飯山に疎開	有
20	松田暢夫	絵画 油彩	飯山市 大町市					一
21	村山弘	絵画 油彩	飯山市 名古屋市			H23 新収蔵品展		有
22	三ツ井愛之輔	絵画					飯山中学教員	一
23	宮澤鉄夫	絵画 日本画	飯山市 東京都		H9 宮澤鉄夫企画コーナー			有
24	箕口博	彫刻 木造	飯山市		H23 箕口博彫刻展	H19 個展 H23 新収蔵品展	遺族滋賀県在住	有
25	山本直治	絵画 油彩	大阪府 大阪府				飯山の風景画 多数制作	有
26	森本香谷	絵画					飯山中学初代美術教師 (有)	
27	山田晃	絵画 水彩	中野市					一
28	横井弘三	絵画 油彩	飯田市					有

○飯山市美術館運営協議会規則
平成9年3月21日教育委員会規則第3号
改正

平成18年2月20日教委規則第1号
平成20年3月24日教委規則第2号
平成27年3月31日教委規則第4号

飯山市美術館運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、飯山市伝統産業会館条例(昭和57年飯山市条例第22号)第19条に定める
飯山市美術館運営協議会(以下「協議会」という。)の委員の定数、任期その他必要な事項を
定めるものとする。

(定数)

第2条 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

(任命)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識者から教育委員会が委嘱し、又
は任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 協議会に会長を置き、委員が互選する。

2 会長が会務を総理する。

3 会長が事故あるときは、あらかじめ会長が指名した委員がその職務を代理する。

(協議会)

第6条 協議会は、美術館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対
し意見を述べることができる。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによ
る。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成18年2月20日教委規則第1号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月24日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第1条の改正規定は、平成20年4月1日から施
行する。

附 則(平成27年3月31日教委規則第4号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

○飯山市伝統産業会館条例
昭和57年6月25日条例第22号
改正

昭和61年3月19日条例第7号
平成元年3月25日条例第19号
平成9年3月21日条例第10号
平成12年3月27日条例第1号
平成18年3月27日条例第15号
平成18年6月30日条例第35号
平成20年3月26日条例第12号
平成26年3月26日条例第1号

飯山市伝統産業会館条例

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づき、伝統産業会館の設置及び管理に関する事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 伝統的工芸品産業の健全な発展に寄与し、及び郷土に所縁のある芸術家の美術品等を収集し、保管し、又は展示して市民の利用に供するとともに、その教養及び調査研究に資するため、伝統産業会館を設置する。

(名称及び位置)

第3条 伝統産業会館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
飯山市伝統産業会館	飯山市大字飯山1,436番地の1

(施設)

第4条 伝統産業会館に次の施設を置く。

(1) 伝統的工芸品展示館

(2) 美術館

(入館料の納付)

第5条 伝統産業会館の展示資料を観覧する者は、入館料を納付しなければならない。

(入館料の額)

第6条 前条の入館料の額は、次のとおりとする。

区分	一般・高校生	小・中学生
個人	300円	200円
団体(20人以上)	200円	100円

2 飯山市ふるさと館条例(平成17年飯山市条例第30号)第3条に規定する飯山市ふるさと館と併せて入館する場合の入館料の額は、前項の規定にかかわらず、次のとおりとする。

区分	一般	小・中学生
個人	240円	160円
団体(20人以上)	170円	80円

3 前2項の規定にかかわらず、特別展の場合においては、その都度定める額を徴収することができる。

(入館料の減免)

第7条 市長は、特に必要があると認めるときは、前条の入館料を減免することができる。

(遵守事項)

第8条 入館者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 伝統産業会館の施設又は備品を損傷し、又は汚損しないこと。

(2) みだりに展示資料等に触れないこと。

(3) 伝統産業会館内においては、静粛にし、他人に迷惑をかけないこと。

(4) 火気の使用及び所定の場所以外で喫煙はしないこと。

(5) 許可なく展示資料の撮影、模写等を行わないこと。

(6) 前各号に定めるもののほか、伝統産業会館の秩序の維持について市長が指示すること。

2 市長は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、退館を命ずることができる。

(1) 前項の規定に違反したとき。

(2) その他管理上必要があるとき。

(施設の使用)

第9条 市民の芸術及び文化活動を奨励し、広くその普及並びに振興を図るため、ギャラリー及びロビー(以下「ギャラリー等」という。)の施設を団体が、美術作品の展示場所として使用することができる。

(施設の使用許可)

第10条 ギャラリー等の施設及び備品を使用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、許可するに当たっては、管理上必要な条件を付すことができる。

(施設の使用資格者)

第11条 ギャラリー等の施設及び備品の使用資格者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 市内に活動の拠点を置く市民団体

(2) その他市長が特に認めた団体

(使用権の譲渡禁止)

第12条 使用の許可を受けた者は、その権利を他人に譲渡してはならない。

(使用許可の取消し等)

第13条 市長は、次の各号のいずれかに該当するとき又は前条の規定に違反したときは、ギャラリー等の施設及び備品の使用許可を取り消し、又は使用等を中止し、若しくは停止させることができる。

(1) 無断で目的外に使用しようとし、又は使用したとき。

(2) 使用に関して係員の指示に違反し、又は使用上遵守すべき事項に違反する行為があつたとき。

(使用期間)

第14条 1回の使用期間は、1週間以上3週間以内とする。

(施設等使用料)

第15条 ギャラリー等施設及び備品の使用料は、次のとおりとする。

区分	ギャラリー	ギャラリー及びロビー	備品(吊金具、展示台及びパネル)
市民団体(1日につき)	3,600円	5,140円	無料
市民団体以外(1日につき)	7,200円	10,280円	無料

(使用料の還付)

第16条 既に納付した使用料は還付しない。ただし、天災その他やむを得ない理由により使用しなかつた場合は、その使用料の全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償)

第17条 使用の承認を受けた者は、施設若しくは備品を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

2 前項の賠償は、市長が認定する。

(職員)

第18条 第4条第2号に規定する美術館(以下「美術館」という。)に館長その他必要な職員を置くことができる。

2 館長は、上司の命令を受けて事務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

(美術館運営協議会)

第19条 美術館に美術館運営協議会(次項において「協議会」という。)を置く。

2 協議会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(補則)

第20条 この条例に定めるもののほか、伝統産業会館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、昭和57年8月1日から施行する。

附 則(昭和61年3月19日条例第7号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成元年3月25日条例第19号)

この条例は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(平成9年3月21日条例第10号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月27日条例第1号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。(後略)

附 則(平成18年3月27日条例第15号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成18年6月30日条例第35号)

この条例は、平成18年7月1日から施行する。

附 則(平成20年3月26日条例第12号)

この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月26日条例第1号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(使用料等に関する経過措置)

2 次項から第10項までに定めるものを除くほか、次の各号に掲げる規定は、それぞれこの条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後の当該各号に定める行為に係る使用料、利用料金、手数料等について適用し、施行日前の当該行為に係る使用料、利用料金、手数料等については、なお従前の例による。

(1)～(7) (略)

(8) 第8条の規定による改正後の飯山市伝統産業会館条例第15条の規定 使用

(9)～(25) (略)